

マザアスニュース 第31号

ひだまり

2004年1月1日(年4回発行)

発行/社会福祉法人マザアス

〒203-0004 東久留米市氷川台2-5-7

Tel 0424-77-7261

Fax 0424-77-7500

HP <http://www.moth.or.jp>

発行責任者/高原 敏夫

編集責任者/萱野 彰一郎

祥雲



<東久留米駅から望む富士山>寒い朝に早起きして撮影しました。(S.K)

節 目

施設長 高原 敏夫

東久留米事業所開設十年を迎えようとしています。「十年一昔」と言われていますが、今年は特に大きく変化する節目になると思います。

昨年は全職員を6グループに分けて、事業計画にあった「グループケアの試み」を実践するための議論を深めてきました。ケアの再構築には、共通の理解が得られたようです。参加者の求める理想の姿、変化の先にある夢には心躍る思いがしています。「楽しい我が家」「ここで暮らしたいと思えるホーム」「自分らしく、その人らしく生きる事を支える」「自由、気ままに、楽しく」等を目指して、時の過ぎるのも忘れて熱心に語り合いました。

このケアの見直しは世界的傾向で、エデン・オルタナティブ(エデンの選択肢)の創始者ウィリアム・トーマス医師が提唱した施設特

有の伝染病への処方箋『介護の十の原則』が注目されています。「従来型のナースিংホームはお年寄り中心の運営ではなく、働く人の効率を優先する集団型の施設運営を行ってきた。その結果、ナースিংホームに住むお年寄りの間には孤独・無力感・退屈という三つの伝染病が蔓延し、施設特有の病気としておなじみの存在になった。これを自宅で生活していた時にごく当たり前だと思っていた環境や、やり方を特別養護老人ホームにも試してみればいい。」と、提案しています。

今年は「個別ケア」を重視した「ユニットケア」に挑戦して、ケアの質を高めるための努力をしたいものです。(世界に一人だけのあなたを大事にする『オンリーワン作戦』として展開していきます。)

発表! マザアス10大ニュース 平成15年の巻

去年一年間、世界各地でも日本国内でもマザアスでもいろいろなことがありました。そこで「マザアスの10大ニュース」と題して利用者の皆さんと職員にアンケートをとり、印象に残った出来事をおしえていただきました。その結果は?

① 職員のガス中毒事故

9月3日、マザアスの調理室にて、食器洗浄器の不完全燃焼と換気不十分により一酸化炭素中毒が発生しました。アンケートの回答すべてにこの出来事への記述があり、「びっくりした」「こわかった」など反応はさまざまですが、職員もみなこの事実を重く受け止めていることがうかがえます。

② ごぞんじ、熱帯魚

前々号でもご紹介しましたが、エントランスホールに登場した熱帯魚の水槽が一大ブームとなりました。途中、二酸化炭素中毒による生存の危機(上記1位の事故とは無関係です)を乗り越え、現在も着々と子孫繁栄中です。

③ デイサービス定員増と施設の大幅なリフォーム

デイサービスセンター・マザアス氷川台の定員が35名から40名に拡大したことにもない、1階玄関の下足箱を新調、3階機能訓練室を新設、そして3階デイルーム横のトイレを2カ所増設しました。以前に比べて、トイレ待ちの時間が短縮されたようです。なお、マザアス大門も定員15名から20名に増えました。

④ 新しいケアへの取り組み本格化

来年度のスタートを見据えて「ユニットケア」に関する研修が充実、今年に入ってから「グループケア推進委員会」も発足し、職員一同よりよいケアを目指して勉強に励んでいます。表紙の施設長の文章もあわせてご覧ください。

⑤ ボランティア登録数300名を超える

平成15年度に入り、ボランティアの登録総数がついに300名を超えました。昨年度までの250名から大幅に増えた要因は、趣味活動として参加されるグループの数が増えてきていることにあるようです。利用者の方々の生活の楽しみの幅がいっそう広がりました。

⑥ 別れと出会い・その1

去年も特養ではたくさんの人を見送り、そして新しい仲間を迎えました。特に去年は、百歳を超える長寿を誇った三名の方が相次いでこの世を去った年でもありました。ご冥福をお祈りします。

⑦ 別れと出会い・その2

看護課では職員の大きな異動がありました。
お元気ですか? ・機能訓練指導員の渡邊忍さんは、利用者さんからとても愛されていました。やさしく語りながらツボを“ギュッギュッ”
・中村ひろ子さんは、歌って踊れる看護課の元気なものでした。
よろしくね! ・看護師北川律子さん 沖縄の海のような人。
・機能訓練指導員高橋美佐さん クマのプーさんのジャンパーがとてもお似合い!

⑧ のらねこがやってくる

グループホームたきやまの南側の庭に、はじめは日向ぼっこをしに来ていましたが、味噌汁のだしに使った煮干をあげると毎日やってくるようになりました。

⑨ おしゃべり人形

入居者のご家族、服部繁様より寄贈していただきました。なでたりだっこしたり握手したり話しかけると、小さな男の子の声で答えてくれます。入居者のみなさんのいいお友達になっています。(右の写真)

⑩ 職員の趣味サークル充実

前号で紹介した映画の会のほか、茶道教室、ボーリング大会、マージャン大会、スキーツアーなど、明日の仕事への英気を養っています。

<番外編・利用者の部>

- ・夕涼み会のフライドチキンうまかった!
 - ・すしの日、二人前もたいらげた!
 - ・お好みパンの日、配給の頃を思い出す。
 - ・誕生日にチョコレートケーキを食べたこと。
 - ・隣の方からいただいたおかずがおいしかった。
- ～食べることばかりです…

<番外編・職員の部>

- ・職員Aさん(旧姓Iさん)電撃入籍!
 - ・隣の家が火事で焼けた。
 - ・初孫誕生。
 - ・ついに自分も40歳、介護保険突入!
- ～個人的にもいろいろあったんですね



秋光祭を終えて

マザアス恒例の秋光祭は、10月30日～11月2日の四日間開催されました。お手伝いいただいたボランティアの方、家族会の方、ご寄付をいただいた方、心より感謝いたします。ありがとうございました。

収支報告

(収入の部)

1階エントランス喫茶	4,900円
3階喫茶	13,950円
3階手作り品販売	33,780円
3階茶道発表会	8,800円
模擬店	120,210円
フリーマーケット場所代	22,670円
家族会寄付金	63,063円
利用者さんへ掛売	18,260円
寄付金	43,000円
合 計	328,633円

(支出の部)

喫茶材料費	23,987円
茶道発表会材料費	19,136円
ボランティアさん弁当代等	46,626円
模擬店材料費	113,355円
フロア装飾代等	44,391円
合 計	247,495円

収支差額 81,138円

秋光祭 初日エントランスでの生演奏



「99K D Aクラブ」(ギター演奏)は、清瀬市の歯科医の皆様による集まりです。1999年に五十嵐修一先生が発起人で、最初は3人でしたが、現在では5人の方が歯科医をしながら毎週3時間の練習を重ねているそうです。信愛病院をはじめあちらこちらから依頼され演奏していらっしゃいます。皆様おなじみの「乾杯」「テネシーワルツ」などの曲を演奏して頂き、思わず口ずさむ方、拍子を打つ方など、感激で一杯のひとときでした。

秋光祭実行委員 橋本 静江

お知らせ

【職員研究発表会】

日時 2月20日(金) 18:30～20:30
場所 マザアス3F地域交流ロビー

〈発表部門〉

- ◆生活介護課・生活相談課
- ◆デイサービスセンター・マザアス氷川台
- ◆東久留米市東部在宅介護支援センター
- ◆総務課

職員研究発表会も今年で第6回目になります。興味のある方はぜひ足を運んでみてください。

趣味活動



「手話」で「ふるさと」を合唱

編集後記

1月号を1月になってから編集しています。「何事も慣れが大事」といいますが、これに慣れたらおしまいと、反省しきりの今日このごろです。十周年が待っている。

萱野 彰一郎

特別養護老人ホーム マザアス東久留米	デイサービスセンター マザアス氷川台	ヘルパーステーション マザアス氷川台	居宅介護支援事業所 マザアス氷川台
Tel 77-7261	Tel 77-7263	Tel 77-7260	Tel/Fax
Fax 77-7500	Fax 77-7500	Fax 77-7500	70-1740
老人デイサービスセンター マザアス大門	東久留米市東部 在宅介護支援センター	グループホーム たきやま	グループホーム ひかわだい
Tel 70-0065	Tel 73-9996	Tel/Fax	Tel/Fax
Fax 70-8024	Fax 73-9986	77-1525	77-2150